

「塩分吸着剤」配合防錆塗装システム

C S C システム[®]

Corrosion Suppressing Coating System

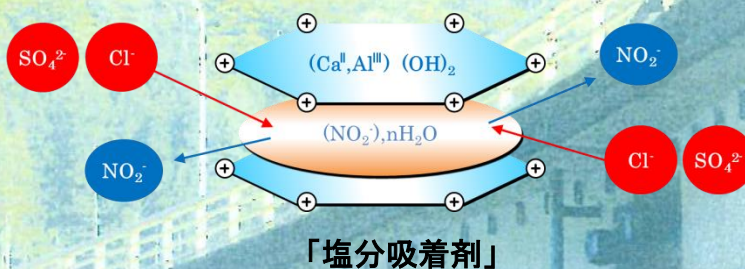
[国土交通省 NETIS 登録技術 M-CSC システム KT-220111-A]

“CSCシステム”は、通常のケレンでは除去できない残存錆中の腐食性物質に直接作用して無害化することによって、厳しい環境から鋼材を守る画期的な高防錆塗装システムです。

特 徴

下塗材（下地処理材）防錆コートFは、「塩分吸着剤」[イオン交換能を持つカルシウム・アルミニウム複合水酸化物]を含む特殊な防錆材で、鋼材の腐食を長期的に抑制します。中塗材防錆コートPは、弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料、上塗材防錆コートTは、アクリルウレタン樹脂塗料・フッ素樹脂塗料を用意しており、優れた耐候性を発揮します。

[防錆メカニズム]



【標準配合及び塗布量】

材料名		荷姿	標準塗布量 ^{※1}	施工面積 ^{※1}
前処理材 防錆コートF	CF-0	セメント系塗料	5.0kg/袋 配合水 2.3~2.5ℓ	0.30 kg/m ² 約 25 m ² /袋
下塗材 防錆コートF	CF-1	セメント系塗料	5.0kg/袋 配合水 1.65~1.75ℓ	0.45 kg/m ² 約 15~27 m ² /袋
中塗材 防錆コートP	CP-1	弱溶剤形変性 エポキシ樹脂塗料	A液 15.0kg B液 1.5kg /セット	0.25 kg/m ² 約 65 m ² /セット
上塗材 防錆コートT ^{※2} (いずれか選択)	CT-1	アクリルウレタン 樹脂塗料	A液 16.0kg B液 4.0kg /セット	0.14 kg/m ² 約 140 m ² /セット
	CT-2	弱溶剤形 フッ素樹脂塗料	A液 14.0kg B液 2.0kg /セット	0.14 kg/m ² 約 110 m ² /セット

※1 塗布量・施工面積は塗装仕様によって異なります。

※2 上塗材は構造物の規格・基準に応じてCT-1またはCT-2よりお選びください。

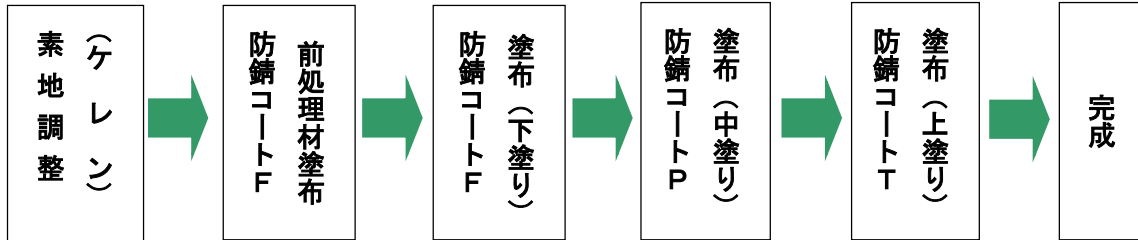
・中塗材・上塗材はそれぞれ指定のシンナーで希釈塗布します。

株式会社ジェイアール総研エンジニアリング
株式会社 複合材料研究所

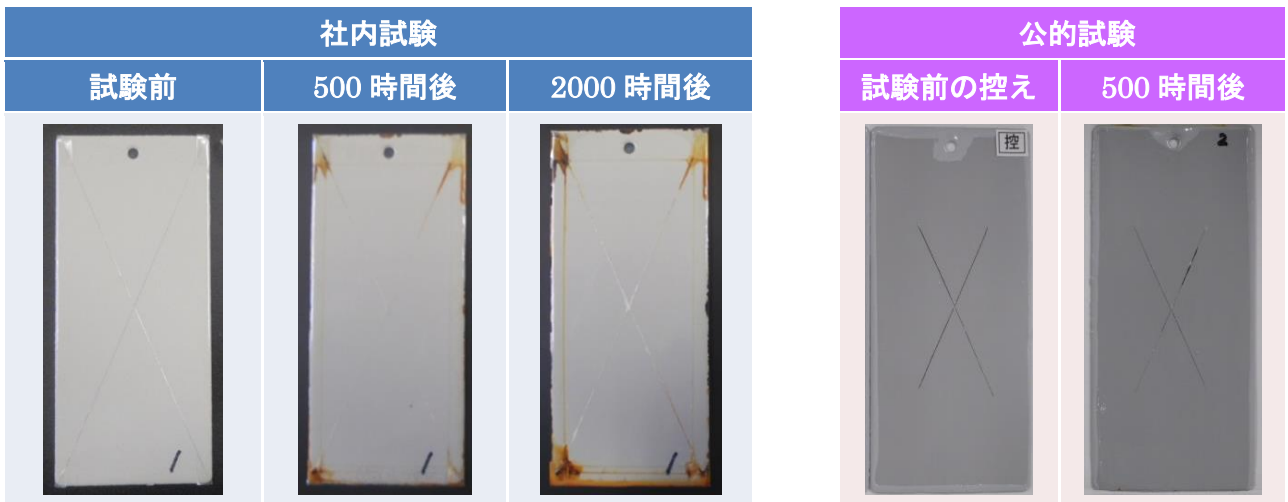
防錆コートFの基本性能

- 防錆能：SSI 工法用鉄筋防錆材（防錆ペースト）と同等以上
- 塩水噴霧試験およびサイクル腐食試験：公的試験でいずれも異常なし

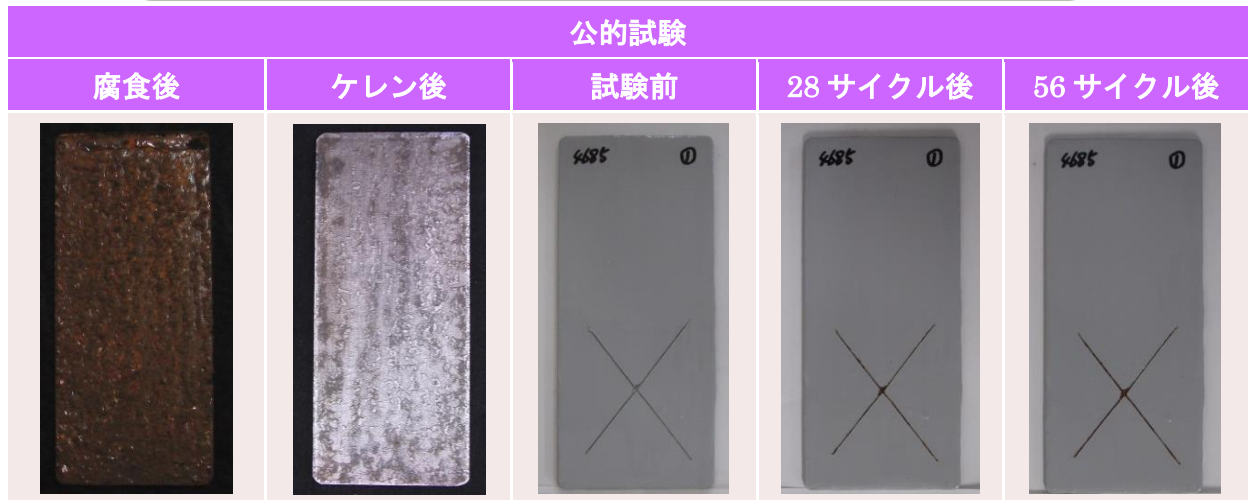
施工手順



【塩水噴霧試験(JIS K 5600-7-1)】



【腐食鋼板によるサイクル腐食試験(JIS K 5600-7-9 サイクル D)】



[販売]

JRSE (株)ジェイアール総研エンジニアリング
 〒185-0034 東京都国分寺市光町 1-39-23
 TEL:042-501-2605 FAX:042-501-2838

[製造]

M (株)複合材料研究所
 〒490-1111 愛知県あま市甚目寺大淵 1-4
 TEL:052-444-7221 FAX:052-485-4721